

 北海道文教大学

後援会会報

No.
29

CONTENTS

■ 会長退任のご挨拶・事業報告1	1
■ 事業報告2	2
■ 事業報告3	3
■ 就職だより・資格取得・就職率	4

発行日 令和5年3月13日
 発行責任者 山本 和男
 発行係 恵庭市黄金中央5丁目169番地の1
 北海道文教大学後援会事務局(学生部内)
 TEL 0123-34-0011

「令和4年度 後援会活動を終えて」

北海道文教大学後援会 会長 山本 和男

卒業生の保護者の皆さま、ご子息、ご息女のご卒業、誠におめでとうございます。後援会役員一同、心よりお慶び申し上げますとともに、入学以来、後援会活動へのご支援、ご協力を賜りましてありがとうございました。厚くお礼申し上げます。



私も保護者の一人として皆さまとこの日の喜びを共有できますことを大変うれしく思います。卒業生の皆さんは、入学からこの日を迎えるまでの日々は、決して簡単ではなかったことと思います。誰もが経験したことのないコロナ過での学生生活は卒業までに様々なハードルがあり、その一つ一つ乗り越えるのは生易しいものではなかったはずですが、その勉学の過程で身につけられた知識や技術、また人との出会いを通して育まれた絆はこれからの社会の中で活かされることと思います。

皆さんは、これから新しい社会に巣立られ、その進む路は決して楽な路ばかりではないかもしれません。色々な壁にぶつかり、悩み戸惑うこともあると思います。

でも心配はいりません。人は誰しも人に支えられて生きています。時には失敗や後悔、失意さえ大きく前進していく糧になるはずですが、そのような時は共に学んだ仲間、優しく時に厳しく教え導いてくださった先生方を思い出してください。必ず一人ではないことに思い至り、ご自分の根底にある自信を思い起こすことでしょう。

今の時代において、5年後10年後の姿は容易に予想できるものではありません。そうした中で創立80年の歴史ある本学園の多くの先輩方が社会で活躍しておられます。「清正進実」という建学の精神のもと、この大学で学んだ専門知識、培われた行動力、対人力や想像力をご自身の信条として自信をもって社会へ踏み出してください。

さて、この4年間、北海道文教大学後援会の役員をやらせていただき、たくさんの皆さんに出会い、たくさんの貴重な経験もすることが出来ました。これは私の人生にとってかけがえのない財産です。皆さんに出会えたことに感謝し、これまで頂いた「縁」を今後も大切にしていきたいと思っています。

最後なので少しだけ私自身の事をお話しさせて頂くと、私は決して「出来る人」ではありません。「出来る人」風に、少しだけ勇気を出して「やってみた」だけです。出来ないのとやらないのは違います。まずやってみる、やろうとしてみるという姿勢を私たちが見せなければ周りの方達にも伝わらないと私は思います。

会長としては力不足ながら、会員の皆さま、村井副会長をはじめ役員の方々の皆さま、大学のご協力、そして事務局のご尽力に支えられて、コロナ過からのリスタート元年として従前の各種事業のほか、新たな事業展開を進めることができましたこと、心から感謝申し上げます。

これからも北海道文教大学後援会の更なる発展と、皆さまのご多幸を願って、退任のご挨拶とさせていただきます。皆さま本当にお世話になりました。ありがとうございました。

定期総会のお知らせ

令和5年度「定期総会」は令和4年度同様、「書面総会」と致します。

会員(保護者)の皆様には、改めて郵送にてご案内いたしますので、ご了承ください。同時に理事(役員)の募集も致します。

キャンパスウォッチングを実施

毎年1回実施している「キャンパスウォッチング」を10月3日(月)11:30~14:00に北海道文教大学にて開催しました。

平日にもかかわらず7名の理事(保護者)の方々が参加され、大学内の施設設備を視察しました。視察後の「意見交換会」では、マイボトルの利用が多いにもかかわらず対応の給水器が無いことが分かり、設置する旨、提案されました。

大学の環境に目を向け、学生たちに必要な支援を考える良い機会となりました。



役員会を開催

11月25日(金)16:30よりホテルニューオータニ札幌にて「役員会」を開催致しました。18名中15名の理事(保護者)が出席し、今年度新たに理事となられた皆さんとの初顔合わせとなり、新たな体制で後援会がスタートしました。

会議では、大学生活で学生たちが必要としている支援について話し合い、「100円ランチ」による経済的支援について、速やかに実施できるよう事務局に要請がありました。

今後もコロナ感染状況に注意しながら役員会を開催し、学生たちの大学生活を支援する取り組みを考えていきます。



学生生活報告・相談会を開催

後援会事業を紹介

北海道文教大学では、10/9恵庭市(大学)、10/23旭川市、11/6札幌市、11/20北見市、12/3帯広市にて保護者対象の「学生生活報告・相談会」を開催し、参加された保護者の皆様に、後援会の活動報告と支援・協力について山本会長より説明させて頂きました。

学長挨拶の後、学生生活、就職、後援会、同窓会について説明と紹介があり、その後、学科毎に教員との個別面談が行われました。

来年度も道内各地で開催予定ですので、後援会も参加させて頂き、保護者の皆様に支援活動を知っていただきたいと考えています。



大学祭を支援

後援会でコロッケ店を出店

10月に2日間開催された大学祭にて、後援会も大学祭実行委員会を支援し、イベントを盛り上げるために「コロッケ店」を出店しました。OBも含め13名の理事(保護者)の協力を頂き、1000個用意したコロッケが2日目のお昼には完売し、大盛況のうちに終了しました。

大学祭では、後援会より「金券」を同日開催の学生生活報告・相談会に参加された保護者の皆さんにお配りし、模擬店利用の協力をお願いしました。

コロッケ店は、後援会理事の皆さんのコミュニケーションの場にもなっており、毎年恒例の事業となっています。



食と健康を支援

「100円朝食」「100円ランチ」大盛況

後援会では、4月～10月の100日間、学生に100円であたたかい朝ごはんが食べられる環境を提供し、食育を推進しています。今年度はコロナの影響でスタートが遅れ、新入生の朝のルーティンにはならなかったようですが、来年度は4月からスタートし、特にひとり暮らしの学生の朝ごはんを支え、栄養面から学修できる環境を整えていきます。

また、1月から春休みまでの2か月間、役員会にて提案のあった「100円ランチ」を実施し、昼ごはんを経済面から支援する取り組みも行なわれました。100食限定で週一回行われ、毎回完売するほどの人気ぶりでした。



冬季ワールドユニバーシティゲームズ報告会を開催

● 活躍する道文教大生を支援

1月にアメリカで開催された大学生のオリンピックと言われる「冬季ワールドユニバーシティゲームズ」の女子アイスホッケー日本代表に、本学から6名の選手が選抜され、見事準優勝、銀メダルを獲得しました。

2月6日に「報告会」を行い、課外活動を支援する後援会から、各選手に花束が贈呈されました。山本後援会長も来賓として出席し、選手に花束贈呈を行い、その栄光にお祝いの言葉を送りました。

【日本代表に選抜された本学の選手】

健康栄養学科4年	志賀紅音選手
健康栄養学科4年	黒須若菜選手
こども発達学科2年	山本桃香選手
理学療法学科1年	北村さくら選手
国際教養学科1年	ラック陽コラソン選手
国際コミュニケーション学科1年	鎌田美南選手



「給水器」を設置

● マイボトルが利用できます

キャンパスウォッチングで理事（保護者）から提案されたマイボトル対応の給水器が大学会館1階ラウンジに設置され、いつでもスムーズに給水できると学生に評判です。

お湯も出るので、ティーパック持参でお茶にしたり、カップ麺のお湯に使ったりと、学生の飲食サポート設備として活躍することと思います。

後援会では、安心して清潔な水を利用できるよう、維持管理を支援していきます。



AEDを新たに設置

● 大切な命を守るために

大学の各館に設置されている「AED」ですが、この度、鶴岡記念講堂1階ロビーにも1台設置しました。これで全ての館に計9台のAEDが設置されたこととなり、学生や教職員、保護者や来客の緊急時に速やかに対応できる配置となりました。後援会では、大学にいる全ての人々の大切な命を守るために、AEDの維持管理を支援していきます。



就職だより (就職課の取り組み)

学科毎の就活スケジュール

【国際言語学科・健康栄養学科】

3年次後期のキャリア授業で就職活動について学び情報収集を行って、就職活動が解禁される3月頃から就職活動がスタートします。

【看護学科】

3年次の臨床実習終了後の学内就活ガイダンスを経て、3月頃から就職活動がスタートし、4年次の臨床実習と重なる5月頃から活動が本格化します。

【こども発達学科】

3年次後期のキャリア授業で就職活動の進め方を学んで情報収集を行い、4年次の学外実習が終了する7月頃から活動が本格化します。

【理学療法学科・作業療法学科】

4年次前期の臨床実習後に行われるWEB就職説明会を皮切りに就職活動がスタートし、理学療法学科の秋季実習が終了する10月以降本格的な就職活動に入ります。

資格取得 (資格取得奨励金の状況)

資格取得を奨励しています

北海道文教大学就職課では、就職に有利な免許や資格試験に合格した場合、受験料相当額を「資格取得奨励金」として支給し、学生の資格取得を奨励しています。北海道文教大学独自の学生支援制度で、全ての学科の学生が対象です。その費用は全額を後援会が「免許等取得助成費」より助成しています。

◆2022年度「資格取得奨励金」支給状況

支給月	合格した資格名	学科・学年	支給人数
4月	TOEIC 600点以上	国際言語学科4年	1
5月	ファイナンシャル・プランニング 技能士 3級	国際言語学科4年	1
	世界遺産検定2級	国際言語学科4年	1
6月	国内旅行業務取扱管理者試験	国際言語学科3年	1
8月	ファイナンシャル・プランニング 技能士 2級	国際言語学科4年	1
	実用英語技能検定 2級	国際言語学科3年	1
10月	航空無線通信士	国際言語学科4年	1
11月	実用英語技能検定 (S-CBT含む) 2級	国際言語学科3年	2
	TOEIC 600点以上	国際言語学科3年	1
12月	ファイナンシャル・プランニング 技能士 3級	国際言語学科3年	1
	TOEIC 600点以上	健康栄養学科2年	1

主な就職支援対策

8月 PT/OT WEB就職説明会



大学内に中継スタジオを設置して道内30病院からの説明をライブ配信。学生はPCやスマホで興味のある医療機関の説明を視聴し情報収集を行いました。応募する際に再視聴することも出来ます。

11月 適職診断・自己分析テスト「R-CAP」

全学科の3年生が対象。自分の思考パターンを知り、自分に向いている職場環境や職業適性を理解するための診断テストです。

結果報告を用いたエントリシート作成講座も開講しました。後援会からの助成により約半額で受験出来るため、多くの学生が利用しています。



1月 給食委託会社WEB就職説明会

昨年より健康栄養学科3年生を対象に実施。参加企業を給食委託会社大手10社に限定したWEB説明会です。学生にとっては一度に多くの委託会社の説明を聞くことが出来る貴重な機会になりました。

2022年3月卒 各学科就職率

就職率(全学平均) **99.2%**



国際言語学科

健康栄養学科

理学療法学科

97%

99%

100%

作業療法学科

看護学科

こども発達学科

100%

100%

98.7%